



門高通信

～平成 30 年度第 4 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ: <http://cms1.ishikawac.ed.jp/~monzeh/nc2/htdocs/>

メールアドレス: monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp

学生のこと

私はこの修学旅行で沖縄に行くまで沖縄で起きた戦争が、どれほどひどいものだったのかを全く知りませんでした。ひめゆり学徒隊という私たちと同じ年の女の子たちがいたということは知っていました。どのように過ごしてどのように亡くなったのかは全く知りませんでした。

平和学習として、糸数アブチラガマという地下の防空壕に行きました。そこでは約70年前に数えきれないほどの方が亡くなっています。今では壕の中はきれいに整備されて安全なつくりになっています。それでもライトをもって手すりをつかんでも暗くて何も見えない。ごつごつした岩場を歩くのは怖くて危なくて、今ここで70年前のように暮らしてみると言われたら私はきっとできないと思います。

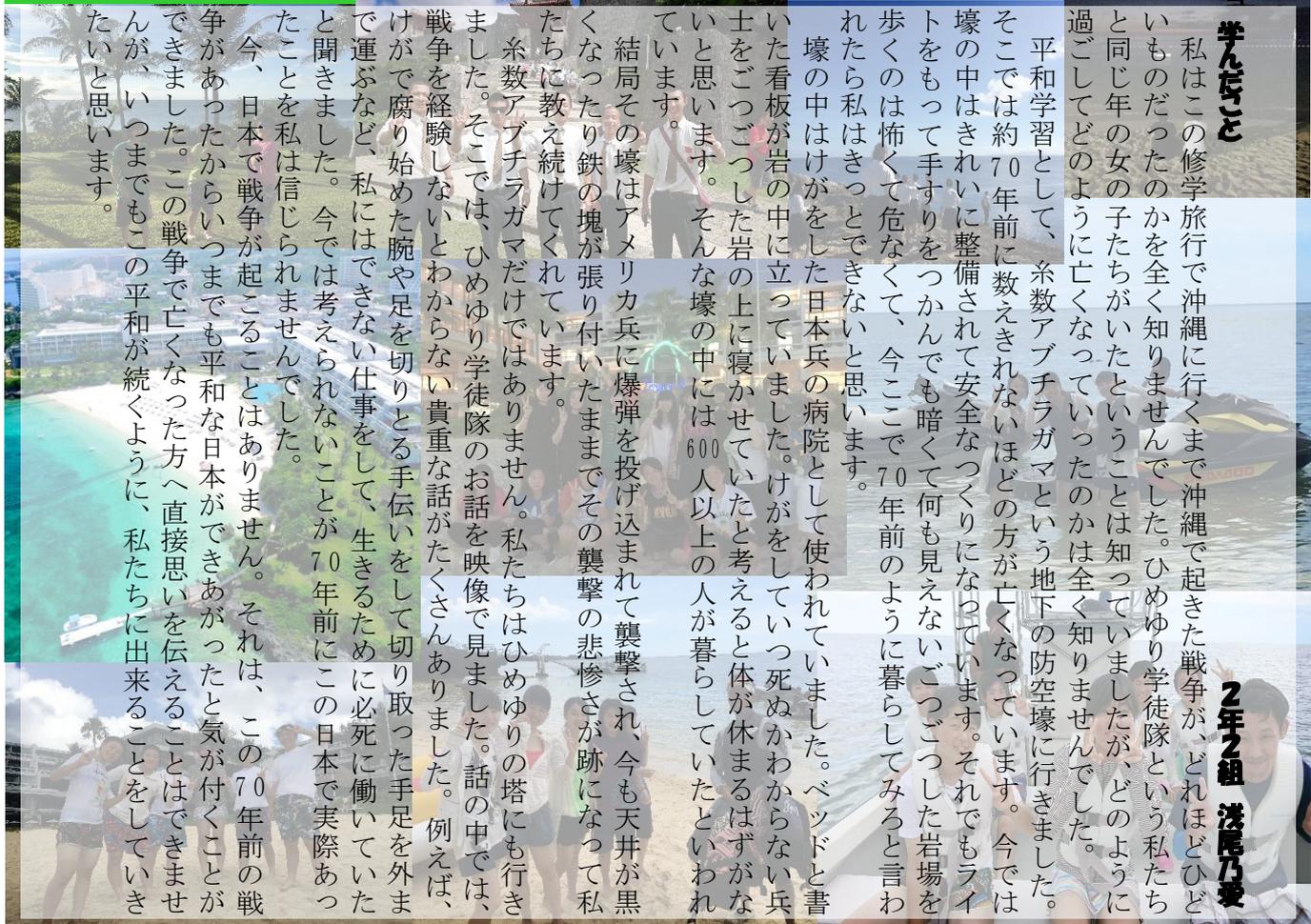
壕の中はけがをした日本兵の病院として使われていました。ベッドと書いた看板が岩の上に立っていました。けがをしていつ死ぬかわからない兵士をごつごつした岩の上に寝かせていたと考えると体が休まるはずがないと思います。そんな壕の中には60人以上の人が暮らしていたといわれています。

結局その壕はアメリカ兵に爆弾を投げ込まれて襲撃され、今も天井が黒くなったり鉄の塊が張り付いたままです。その襲撃の悲惨さが跡になって私たちに教え続けてくれています。

糸数アブチラガマだけではありません。私たちはひめゆりの塔にも行きました。そこでは、ひめゆり学徒隊のお話を映像で見ました。話の中では、戦争を経験しないとわからない貴重な話がたくさんありました。例えば、けがで腐り始めた腕や足を切りとる手伝いをして切り取った手足を外まで運ぶなど、私にはできない仕事をして、生きるために必死に働いていたと聞きました。今では考えられないことが70年前にこの日本で実際あったことを私は信じられませんでした。

今、日本で戦争が起こることはありません。それは、この70年前の戦争があったからいつまでも平和な日本ができあがったと気が付くことができました。この戦争で亡くなった方へ直接思いを伝えることはできませんが、いつまでもこの平和が続くように、私たちに出来ることをしていきたいと思っています。

2年2組 渡尾乃愛



清掃ボランティア遠足が6月26日にありました。暑い日であったにも関わらず、学校から持参したゴミ袋を使い切るほど1年生と3年生は一生懸命たくさんのゴミを集めました。ゴミ拾いをした後のお弁当の味はさぞ格別だったことでしょう。1日中、まぶしい笑顔であふれていました。



第100回
全国高等学校
野球選手権
記念石川大会
7月17日
鶴来戦



試合を終えて
野球部主将 田川智大

最後の大会は少し悔いが残りまし
た。でも、先生方やOB、地域の方々
両親に恩返しできるプレーができた
と思います。今まで自分についてきて
くれた後輩や同級生の三人、そして先
生方には感謝の気持ちでいっぱい
です。特に先生方には、自分が落ち込ん
でいる時も、笑顔で励ましていただい
たり、自分の支えになっていただいた
り、感謝しきれません。同級生の三人
は、途中入部だったけど、自分と共に
野球をしてくれてうれしかったし、心
強い仲間で感謝しています。後輩に
は、杉本新主将とエース道田を筆頭に
甲子園出場に向けてがんばってほし
いです。自分たち三年生は、次のステ
ージに向けてがんばります。
最後に、先生方と先徒のみなさん、
応援していただきありがとうございます
でした。これからも応援よろしくお願
いいたします。

3年2組 石崎 敬位
(重来中学出身)

3年生は3チームに分か
れて全チームが決勝リーグ
に行けることを目標に頑張
りました。当日はとても暑
かったけれど、3年生全チ
ームが決勝リーグに行くこ
う目標が叶ったので嬉し
かったです。また、自分た
ちのチームは優勝できたの
で、最後の球技大会がとて
もいい思い出になりました。
楽しかったです。



球技大会 7/11

2年1組 横山 康平
(門前中学出身)

自分たちの2年生のチー
ムは去年は決勝リーグにも
行けずに悔しい思いをしま
したが、今年は全員が打ち
みんなどった得点で優勝
することができてすごく嬉
しかったです。全学年が楽
しめたと思うのでいい球技
大会になりました。



第1回クワイティフ人材育成事業
〈ふるさとを守るためには、何が必要か?〉
のと共栄信用金庫 執行役員
ふるさと支援室長 小石 芳一様
にお話をさせていただきました!!



《進路ガイダンス》

生徒たちは真剣な面持ちで話を聞いていました。自
分の将来のことについて深く考える良いきっかけにな
ったのではないかと思います。

つぶやき②「夏休みの思い出 高校編」 中津教頭先生



夏休みが始まった。門高生徒は冷房機器が装備された門前公民館の部屋を借り
て、現在補習中である。振り返れば、自分の高校時代もそうだった。補習、部活
動、学校祭準備に明け暮れ、そして大量の宿題に追われ、高校3年間の夏は終わ
った。某出版社の英語や現代文・古典の参考書と問題集を読んだり解いたりする
のが自分の読書だった。が、「活字を読んで考えたり、書いたりする」力はこの時
期に身についた気がする。

先月読んだ雑誌に、「AI時代に勝つ子負ける子」という特集記事があった。
この中で、筆者は「これからの時代を生き抜く子どもは、人間にしかない『読解
力・論理力・数学力』の3つの力を習得すべき」と点を、また、「東ロボ(ロボッ
トは東大に入れるか)」というAIプロジェクトを指揮する新井紀子教授は『基
礎となる日本語を正しく読むことができる力』を身につけることが何より大切で
あり、読解力不足だとAI時代には勝てない」と、主張している。両氏とも、従
来の詰め込み型学習では、将来大量の失業者を生むことを懸念し、子どもの中
からAIが代替できない能力育成の必要性を訴えている。

ある調査によると、「大学生の1日の読書時間がゼロの割合が5割を超えた」
とのことだ。理由は様々だが、調査結果の分析担当者によると、「高校生までの
読書習慣が全体的に下がっていることの影響が大きい」と指摘している。自分が
思うに、本を読む人、読まない人というのは、若い時はそんなに差がなくても、
歳を重ねるごとに顕著になり、そしてその差は、人生のあらゆる所で表出して
くる。門高生の皆さんは将来AI時代を生きるわけだが、この夏休み、学習や部活
動の傍ら、1日10分でもいいから毎日、本を読んでみてはどうだろうか。

8月の主な行事予定

- 4日 全統マーク模試(3年)①
- 5日 全統マーク模試(3年)②
- 10日 ソフトボール中日本大会
(~12日)
- 13日 学校閉庁日 (~15日)
※この期間学校には入れません
- 17日 夏季補習再開(3年)
(~30日)
- 20日 夏季補習再開(1, 2年)
(~30日)
- 21日 漢字検定
- 24日 JAPAN TENT
- 27日 全校登校日
- 28日 体験入学
- 29日 模擬面接(3年)
- 30日 スタディサポート
- 31日 文化祭準備

